

予算特別委員会 産業建設分科会 記録

開 会 年 月 日	令和 2 年 3 月 6 日	
開 会 時 刻	午前 9 時58分	
閉 会 時 刻	午前10時56分	
出 席 委 員 名	◎辻 孝記	○宮崎 誠
	野口佳子	小山 敏
	浜口和久	山本正一
	宿 典泰	世古口新吾
	世古 明	議長
欠 席 委 員 名	な し	
署 名 者	野口佳子 小山 敏	
担 当 書 記	森田晃司	
審 査 案 件	議案第 2 号	令和 2 年度伊勢市一般会計予算中 産業建設分科会関係分
	議案第 6 号	令和 2 年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
	議案第 7 号	令和 2 年度伊勢市観光交通対策特別会計予算
	議案第 8 号	令和 2 年度伊勢市土地取得特別会計予算
	議案第10号	令和 2 年度伊勢市水道事業会計予算
説 明 者	市長 副市長 ほかに関係参与	

伊 勢 市 議 会

審査の経過ならびに概要

辻会長が開議を宣告し、会議成立宣言の後、「議案第2号 令和2年度伊勢市一般会計」の消防費から審査を再開し、付託案件すべての審査を終わり、暫時休憩の後、会長報告文について正副会長に一任することで決定し、閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開議 午前9時58分

◎辻孝記会長

ただいまから予算特別委員会産業建設分科会の継続会議を開きます。

出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

会議録署名者は当初決定のとおりであります。

審査に入る前に、都市整備部から発言の申し出がありますので、許可いたしたいと思えます。

基盤整備課長。

●倉野基盤整備課長

昨日、野口委員より、道路新設改良費栗野5－2線の土地取得特別会計対応する額を御質問いただき、3,651万3,000円とお答えさせていただきましたが、この額は本路線の一般会計予算額と土地取得特別会計で対応する額を合わせたものでございました。

正しくは、2,221万5,000円でございますので、訂正させていただきます。

まことに申し訳ございませんでした。

◎辻孝記会長

審査に入ります。

それでは、款10消防費の審査に入ります。

【款10消防費】《項1消防費》（目4水防費）（目5災害対策費）

◎辻孝記会長

当分科会の所管は、項1消防費のうち144ページの目4水防費及び目5災害対策費、大事業3防災対策事業、中事業8避難対策事業であります。

一括で審査をお願いします。

御発言はありませんか。

宮崎副会長。

○宮崎誠副会長

おはようございます。

私からは、まず目4の水防費について、お尋ねしたいと思います。

今予算では、今回の計上されました予算としましては、本年度の予算に比較しますと約60%ほど削減されております。この件について、事業として削減された内容等ありましたらお示しいただきたいと思っております。

◎辻孝記会長
維持課長。

●上田維持課長

水防予防経費におきまして、60%、約950万程度になろうかと思っております。

今年度計上しております防災マップの更新業務、それと危機管理型水位計の工事費、それぞれが令和2年度にはありませんでして計上しておりませんのでその金額を二つ足したものが減額というふうになっております。以上でございます。

◎辻孝記会長
宮崎副会長。

○宮崎誠副会長

ありがとうございます。今回、ハザードマップ並びに水位計の設置が今年度で終わることですにしたいと思いますが、実際に水位計については、去年の台風時の降雨量とかそういったときに、実際に市民の方々がたくさんアクセスされて見られているということもあります。

今後の経緯としまして、今回は予算のほうには含まれておりませんが、実際に地域のほう、自治会等から水位計を追加してほしいとかそういった要望があった場合には、どのように対応できるのか、お尋ねできればと思っております。

◎辻孝記会長
基盤整備課長。

●倉野基盤整備課長

これまでの過去の浸水実績などを参考に水位計は20基ほど設置させていただきました。今年度も3基追加させていただく予定で進めております。

こういった水位計のデータを蓄積しながらさらなる有効活用や設置箇所についても今後検討していきたいと考えておりまして、御要望いただきましたらその必要性等を十分検証しながら柔軟に対応していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

◎辻孝記会長
宮崎副会長。

○宮崎誠副会長

それでは、自治会からの要望というのも必要かと思うんですけれども、その件に関しましては必要な場所、そういったところを十分に国や県と相談していただいた上でその検討結果に基づいて柔軟に対応していただければと思っております。

続きまして、もう一件お聞かせいただければと思います。

目5の災害対策費のほうから上がっております中事業の避難対策事業についてであります。今回、土砂災害警戒区域についてのハザードマップということになっておりますが、いつまでが完成予定であって、その後どういうふうにも市民の方へ公表できるのか、また、発信できるのかということについて、お尋ねしたいと思います。

◎辻孝記会長

都市整備部次長。

●宮本都市整備部次長

この土砂災害のハザードマップでございますが、まずこのハザードマップの作成の行程としましては、三重県で基礎調査を1年目に行います。2年目にその基礎調査の結果に基づいて指定区域を示して、指定区域が示された後、3年目になるんですが、市町がハザードマップを作成するという行程になっております。

今回、上げさせてもらっている土砂災害のハザードマップですが、実はこれは平成26年から8年間、平成33年度で完了計画で進めておりましたが、近年の土砂災害の重大な災害が伴うということが多く多発しておることから、三重県のほうも基礎調査、それから指定区域を1年前倒しして7年間で進めるというところがありまして、私どものほうも7年で計画というところで来年度で全て終わる行程で進んでおるところでございます。以上です。

◎辻孝記会長

宮崎副会長。

○宮崎誠副会長

1年前倒しということで回答いただいたところなんですけれども、これについてはやはり地域の方、特にそういった土砂災害が起きやすいところに住まれている方につきましては、大変気になる点だと思っておりますので、スムーズに御対応いただきながら情報発信のほうをしっかりといただければと思っております。

◎辻孝記会長

都市整備部次長。

●宮本都市整備部次長

すみません、先ほど一つお答えのほうで漏れました。

市民に対しての周知でございますが、土砂災害のハザードマップの作成時には、地区に

入りまして危険な箇所の説明とか、それからワークショップ方式を用いまして災害があったときにはどういった避難路を通して指定避難場所にというところも含めまして作成をしています。作成した後にはその地区に全戸配布という形で配布させていただきます。

そういったことを用いまして周知しておりますので、来年度も多くの地区をするんですが、約1万2,200宅を対象に進めておるところで予算を上げさせていただいています。以上です。

◎辻孝記会長

他に御発言ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記会長

御発言もないようでありますので款10消防費の当分科会関係分の審査を終わります。

次に、款11教育費の審査に入ります。

当分科会の所管は、項6保健体育費のうち170ページの目4体育振興費、大事業6、国民体育大会開催事業です。

【款11教育費】《項6保健体育費》（目4体育振興費） 発言なし

◎辻孝記会長

御発言もないようでありますので、款11教育費の当分科会関係分の審査を終わります。

次に、174ページをお開きください。

款12災害復旧費の審査に入ります。

当分科会関係分は、項1農林水産業施設災害復旧費及び176ページの項2公共土木施設災害復旧費です。

**【款12災害復旧費】《項1農林水産業施設災害復旧費》《項2公共土木施設災害復旧費》
発言なし**

◎辻孝記会長

御発言もないようでありますので、款12災害復旧費の当分科会関係分の審査を終わります。

次に、184ページをお開きください。

款14諸支出金の審査に入ります。

当分科会の所管は、項1普通財産取得費のうち目1土地取得費となります。

【款14諸支出金】《項1普通財産取得費》（目1土地取得費） 発言なし

◎辻孝記会長

御発言もないようでありますので、款14諸支出金の当分科会関係分の審査を終わります。

以上で歳出の審査を終わります。

続いて、歳入の審査に入ります。

14ページにお戻りください。

款 2 地方譲与税を御審査願います。

当分科会の所管は、16ページの項 3 森林環境譲与税です。

【款 2 地方譲与税】 《項 3 森林環境譲与税》 発言なし

◎辻孝記会長

御発言もないようでありますので、款 2 地方譲与税の当分科会関係分の審査を終わります。

次に、18ページの款14交通安全対策特別交付金を款一括で御審査願います。

【款14交通安全対策特別交付金】 発言なし

◎辻孝記会長

御発言もないようでありますので、款14交通安全対策特別交付金の審査を終わります。

次に、款16使用料及び手数料を御審査願います。

当分科会の所管は、20ページの項 1 使用料のうち目 4 労働使用料、目 5 農林水産業使用料、目 6 土木使用料及び22ページの項 2 手数料のうち目 3 農林水産業手数料となります。

【款16使用料及び手数料】 《項 1 使用料》（目 4 労働使用料）（目 5 農林水産業使用料）（目 6 土木使用料） 《項 2 手数料》（目 3 農林水産業手数料） 発言なし

◎辻孝記会長

御発言もないようでありますので、款16使用料及び手数料の当分科会関係分の審査を終わります。

次に、款17国庫支出金を御審査願います。

当分科会の所管は、24ページの項 2 国庫補助金のうち目 4 観光費国庫補助金、目 5 土木費国庫補助金及び26ページの項 3 委託金のうち目 3 土木費委託金となります。

【款17国庫支出金】 《項 2 国庫補助金》（目 4 観光費国庫補助金）（目 5 土木費国庫補助金） 《項 3 委託金》（目 3 土木費委託金） 発言なし

◎辻孝記会長

御発言もないようでありますので、款17国庫支出金の当分科会関係分の審査を終わります。

次に、款18県支出金を御審査願います。

当分科会の所管は、項 1 県負担金のうち28ページの目 4 土木費県負担金、項 2 県補助金

のうち目4労働費県補助金、目5農林水産業費県補助金、30ページの目6商工費県補助金、目7土木費県補助金及び項3委託金のうち目3農林水産業費委託金、32ページの目4土木費委託金となります。

【款18県支出金】《項1県負担金》（目4土木費県負担金）《項2県補助金》（目4労働費県補助金）（目5農林水産業費県補助金）（目6商工費県補助金）（目7土木費県補助金）《項3委託金》（目3農林水産業費委託金）（目4土木費委託金） 発言なし

◎辻孝記会長

御発言もないようでありますので、款18県支出金の当分科会関係分の審査を終わります。次に、款21繰入金を御審査願います。

当分科会の所管は、項1基金繰入金のうち34ページの目7景観形成基金繰入金、目10森林づくり基金繰入金及び項2特別会計繰入金のうち目2観光交通対策特別会計繰入金です。

【款21繰入金】《項1基金繰入金》（目7景観形成基金繰入金）（目10森林づくり基金繰入金）《項2特別会計繰入金》（目2観光交通対策特別会計繰入金） 発言なし

◎辻孝記会長

御発言もないようでありますので、款21繰入金の当分科会関係分の審査を終わります。次に、款23諸収入を御審査願います。

当分科会の所管は、項3貸付金元利収入のうち目2商工貸付金元利収入及び36ページの項4受託事業収入、項5雑入のうち40ページの目6労働費収入、目7農林水産業費収入、目8商工費収入、目9観光費収入、目10土木費収入となります。

【款23諸収入】《項3貸付金元利収入》（目2商工貸付金元利収入）《項4受託事業収入》《項5雑入》（目6労働費収入）（目7農林水産業費収入）（目8商工費収入）（目9観光費収入）（目10土木費収入）

◎辻孝記会長

御発言はありませんか。
浜口委員。

○浜口和久委員

ここの貸付金元利収入のうち項3貸付金元利収入、目2商工貸付金元利収入のところで、1点だけ簡単にお聞かせ願いたいなというふうに思います。

これ、平成28年度に契約を更新して、返済の貸付金の償還金が令和15年までの償還となりました。このときの契約に基づきまして、令和元年度は500万円、そして令和2年度は700万円というふうなことで200万円の増額となっております。これは市場内のインフラ整備をするためにというふうなことで返済期限も変更、また、元利の返還金も期間も延ばし

たというふうなことでございますので、ここで今の市場の経営状況、それだけちょっとここで御披露いただけたらなと思いますので、お願いいたします。

◎辻孝記会長

商工労政課長。

●東世古商工労政課長

市場の状況でございます。先ほど委員のほうからも仰せのとおり、契約変更に伴いまして償還期間を延ばさせていただいたところでございます。その間に水道、電気などのライフラインの整備も行っていておりまして、その後、平成27年度の決算より繰越利益剰余金、こちらのほうも徐々にですが、伸びてきておりまして、現状、契約どおりで返還、引き続きしていただけるものというふうに理解いたしております。

◎辻孝記会長

浜口委員。

○浜口和久委員

今後もしこういった形で順調にいくような推移でなっておるのかというのが心配なのが、令和2年、3年は700万円、その次に、そこからだんだんと償還の金額がすごく上がってくるというふうな状況になりますので、先行きは今のところ順調というふうなことでよろしいですか。

◎辻孝記会長

商工労政課長。

●東世古商工労政課長

平成30年度の決算額という形になりますが、繰越利益の剰余金、こちらのほうも3,900万円余りということで、大分財政の硬直化といいますかそういったところも脱したものだというふうに理解いたしております。よほど大規模な天変地異等なければ順調にこのままいっていただけるのかなと。

ただ、建物の老朽化というのも進んでおりますので、そういった修繕も出てこようかと思えますけれども、引き続き経営努力もしていつていただきたいというふうに考えております。以上でございます。

◎辻孝記会長

他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記会長

御発言もないようでありますので、款23諸収入の当分科会関係分の審査を終わります。

以上で、歳入の審査を終わります。

議案第2号中当分科会関係分の審査を終わります。

次に、一般会計中、当分科会関係分の自由討議を行います。御発言はありませんか。

【一般会計の自由討議】 発言なし

◎辻孝記会長

御発言もないようですので、自由討議を終わります。

次に、特別会計の審査に入ります。

325ページをお開きください。

「議案第6号 令和2年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算」を御審査願います。

この議案の審査については、一括で御審査願います。

☆議案第6号 令和2年度伊勢市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算 発言なし

◎辻孝記会長

御発言もないようですので、議案第6号の審査を終わります。

次に、343ページをお開きください。

「議案第7号 令和2年度伊勢市観光交通対策特別会計予算」を御審査願います。

この議案の審査についても、一括で御審査願います。

☆議案第7号 令和2年度伊勢市観光交通対策特別会計予算

◎辻孝記会長

御発言はありませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

おはようございます。

特別会計の中で、この観光交通対策の事業については割と毎年安定の状況ではあるのかな、こんなことを思っております。

一般会計からの繰入金についても、年々繰り出しとの差額にもなりますけれども、少なくなってきたおるといようなことを感じております。

1点、こんな状況で割と会計が安定しておる状況のときに、やはり観光交通対策の管理事業というところで5億5,200万円強の予算が組まれておりますから、この辺りのところの行財政改革の視点といいますか、そういう視点から見るとどこをどのように絞り込みをしていって、これから観光客の受入れをどのようにやっていくかということの状況を判断していただいて、今のこの会計が安定しておるときにそういったところの行財政改革の視

点の話をしていただいたほうがいいのではないかなと、こんなことを感じておるんですけども、会計の中身としてはその辺りのところをどのようにこの予算の中で分析をされて、今後進んでいかれるのか、お答えをください。

◎辻孝記会長

交通政策課長。

●小林交通政策課長

観光交通対策特別会計の運営経費についてでございますが、ほとんどが人件費となっております。

交通対策に当たりましては、交通整理員また交通誘導員の配置場所、時間等、職員が日々状況を把握しまして有効的また効果的に配置するように考えております。また、安全性やおもてなしの観点に立ちましても、これまでの過去の状況を見まして常にコスト縮減に努めておるところでございます。

◎辻孝記会長

宿委員。

○宿典泰委員

このことについては、来年早々というわけにはまいりませんが、中村のほうの道路整備が進むということになってきますと、当然、その誘導員であったり整理員という人件費も形が変わってこようかなと思います。

そういったところへの対処も含めて、今、こういう収益それと支出が安定しておるときに、その辺りのことの対策を練っていただいて、次回にはやはり道路整備の基盤整備にすごくお金を使っていますから、その一方でそういった人件費の削減ができたということになれば、それはウィン・ウィンの話だと思いますので、その辺りのところへの将来に向けての考え方もお示しをください。

◎辻孝記会長

交通政策課長。

●小林交通政策課長

来年は国体がございます。それに向けて中村楠部17-1号線の整備をしておりますので、できるだけスムーズに渋滞のないように来ていただくように、市・県で道路改良を進めておるところでございます。

また、伊勢にいられた方がリピーターとなってもらいまして、気持ちよく来てもらいまして、また、遊んでもらいまして、気持ちよく帰ってもらうというように、いかに移動しやすい環境をつくるかということでございます。

日々経費削減には細部にわたりまして取り組んでおりますので、よろしくお願いいたしま

す。

◎辻孝記会長
宿委員。

○宿典泰委員

よく分かります。今後のことです。

ただ、行財政改革というのは、人件費だけの話をされましたけれども、やはり入札等々で落札をした業者の方が一生懸命やっていたらと思うんですけども、今のこんな御時世のことですからいつ何時どういう状況があるかというリスク管理もきちっとしていただきながらやっていただければなど、こんなことを思います。

収入のほうがこういう安定期なので、それはもう特に事業者のトップである副市長は考えてもらっておると思いますので、どうぞ一度お答えをいただければと思います。

◎辻孝記会長
副市長。

●藤本副市長

この会計については、神宮周辺の交通対策ということで会計が成り立っております。

それが御側橋周辺の道路事情、こちらのほうを整備していることによりまして状況のほうも変わってまいります。

ただいま委員のほうで御指摘いただいた点も含めて、よりスムーズに、また効率的な誘導に努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

◎辻孝記会長
他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記会長
御発言もないようでありますので、議案第7号の審査を終わります。
次に、361ページをお開きください。

「議案第8号令和2年度伊勢市土地取得特別会計予算」を御審査願います。

この議案の審査についても、一括で御審査願います。

☆議案第8号令和2年度伊勢市土地取得特別会計予算 発言なし

◎辻孝記会長

御発言もないようでありますので、議案第8号の審査を終わります。

次に、特別会計中、当分科会関係分の自由討議を行いたいと思いますが、御発言はありませんか。

【特別会計の自由討議】 発言なし

◎辻孝記会長

御発言もないようですので、自由討議を終わります。
当局説明員交代のため、暫時休憩します。

休憩 午前10時24分

再開 午前10時26分

◎辻孝記会長

休憩前に引き続き、会議を開きます。

次に、企業会計の審査に入ります。

403ページをお開きください。

「議案第10号令和2年度伊勢市水道事業会計予算」を御審査願います。

この議案の審査についても、一括で御審査願います。

☆議案第10号令和2年度伊勢市水道事業会計予算

◎辻孝記会長

御発言はありませんか。

野口委員。

○野口佳子委員

410ページの資本的収入のところなのですが、項1建設改良費、目1原水施設費のところの1億1,300万円の予算のところ、どのような工事をされるのか、教えてください。

◎辻孝記会長

上水道課長。

●濱口上水道課長

この部分は、主に水源施設の事業ということでありまして、この中で1億1,300万円とあるんですけれども、一番大きなものは中須水源地というのがございます。中須町のほうに。これは伊勢市の大きな水源地の一つでありまして、こちらのほうの監視制御盤、昭和53年に設置をさせていただきまして消耗品等の取替えは行っておったんですけれども、本格的にやり替えということで、これは債務負担を取りまして令和元年、令和2年と2か年で改修を行う事業でここに上げさせてもらっております。以上です。

◎辻孝記会長

野口委員。

○野口佳子委員

この制御盤を取り替えていただきましたら、今までのように、昭和53年からしていただいておりますということですが、またこれからずっと長い間持つことができるんですか。

◎辻孝記会長

上水道課長。

●濱口上水道課長

そうです。今の操作盤がアナログ方式といいまして、実際にダイヤルを回したりボタンを押したりするんですけれども、新しくなりましたらコンピューターのほうで制御していくということで大きな改良になります。配水に関しては同様にそれを使っていく格好になりますので、制御のほうの改良ということになりますので、よろしくお願いします。

◎辻孝記会長

野口委員。

○野口佳子委員

ありがとうございました。

◎辻孝記会長

他に御発言はありませんか。
宿委員。

○宿典泰委員

数点聞かせていただきたいと思います。

伊勢市も大変今後厳しい状況になるというのは、人口減少であったり高齢化というようなことで、その間、この水道で考えておられる人口というのも何かお聞きすると12万5,219人から818人が減少されるだろうというような予想で令和2年の予算を組まれております。

その収益の数字も聞かせていただいて税抜きで4,400万円強の減額になってしまうだろうというような予想も立てられておると思うんですけれども、この辺りのことについて、もう少し御説明をいただけないでしょうか。

◎辻孝記会長

料金課長。

●酒井料金課長

料金収益につきまして、御質問をいただきました。

委員仰せのように、令和２年度と元年度の当初比較で4,431万7,000円の減少を見込んでおるといところでございます。

818人の人口減に対しまして、一人当たりの年間料金を税抜きで見ますと1万8,233円ということで1,491万4,000円の減額になるかというふうに思います。

水量も減りますと単価も下がりますので、令和元年度と２年度の比較で考えますと235円ほど一人当たり下がってしまいます。

これに対して、人口で令和２年度の予測で12万4,401人ということで235円とその12万4,401人を掛けまして2,923万4,000円の減少が見込まれるといところで、合わせて4,414万8,000円というふうな数字になりますけれども、多少厳しく見ているところでございます、御理解賜りたいというふうに思います。

◎辻孝記会長

宿委員。

○宿典泰委員

分かりました。確かに、この水道事業のほうも黒字ということで推移はしておるものの、以前からいただいております水道事業の将来的なビジョンというのを作成していただいておりますけれども、これも９年すると本当に資金が枯渇して料金に触れるというような危機的な話もあります。約10年の間に水道のいろんな形の見直しをやっていって市民の負担が少なくなる、現状以下ということはないと思いますけれども、現状維持の負担でおさまるような状況というのを見ていく必要もあるのかな、こんなことを思っておりますけれども、その辺りで何か大きな対策というのは組まれておるんでしょうか。

◎辻孝記会長

上下水道総務課長。

●中山上下水道総務課長

委員おっしゃいますように、水道ビジョンにおきましては令和10年度末に大変厳しい状況というふうに予測しております。

ただ、この計画のまま、私どもそのまま単純に進めるのではなく、やはり企業会計ということも当然のことですけれども、コスト意識を持って経費節減、あと施設の統廃合等も行いまして事業の効率化を図りまして、このまま行くと当然厳しい状況でございますので、そういった面で特に努力して事業を進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

◎辻孝記会長

宿委員。

○宿典泰委員

特に、この中にも他会計からの補助金ということで基準外の2,567万5,000円をいただいておりますということですね。

やはり、企業会計ということですので独立採算というのは堅持をするということで、いつも決算のときに述べられておりますから、2,500万円のこともありますがけれども、その辺りのことについて、できるだけ一般会計からのそういった基準外がないような状況を目指すべきではあると思いますけれども、そこら辺についてのお考えもお聞かせください。

◎辻孝記会長

上下水道総務課長。

●中山上下水道総務課長

こちらの基準外繰り入れの2,567万5,000円につきましては、平成14年度、15年度に横輪町の簡易水道を統合した際に建設改良費にかかりました企業債の元利償還金になっております。

このときに一般会計との財政との取り決めにより、今後、この元利償還金につきまして繰り入れを行っていくということになっておりまして、こちらの償還期限が令和15年度末となっておりますので、今後、総額になりますけれども、約3億8,000万円ほどまだ基準外が続くということになります。以上でございます。

◎辻孝記会長

宿委員。

○宿典泰委員

大変、今回も条例の中で簡易水道と会計を統合していくというようなこともありますので、その辺りのことで若干のことは出てくるんだろうと思います。あと14年間の中のことでですから、そのことも頭に入れていながら会計をしていただくということになろうと思います。

あと、有収率のことで若干御質問申し上げたいんですが、毎年、決算の中でも有収率の問題というのがあって、やはり水源地から御家庭へ行くまでが100%で行けばいいんですが、その中で漏水があったりというようなことでそれが90%を割り込んでしまうというようなことになるわけでありまして、平成30年の決算のときに89.4%ということでした。

これをいかにして90%以上に上げるかということが課題だとは思いますが、この辺りで何かとってもらえる手法というのはどのようなことをやっておるのか、また、効果面についてもお聞きをしたいと思います。

◎辻孝記会長

上水道課長。

●濱口上水道課長

漏水に関しては、今、有収率が89.4%ということでその数字であるんですけど、予防保全としましては老朽管更新ということで古い管、漏水箇所の多い部分からやる、それから事後保全とはなるんですけど、漏水調査ということで路面調査、それから給水管、要は御家庭のメーター周りを漏水調査させていただくということをやっております。

今年度は、路面、給水とも箇所はやはり御家庭へ行く管のほうは7割ぐらい、路面のほうは3割ぐらい、漏水量でいいますと路面のほうは8割、御家庭へ行くほうは2割、少ないんですけども箇所は多いということで、大体年間で給水減額、今年のを掛けさせていただくと漏水量で約1,300万円、これは全て修理はさせていただきました。以上です。

◎辻孝記会長
宿委員。

○宿典泰委員

大変な大きい数字だと思います。

何か私たちも研修等々で東京周辺へ行くと、新しい水道の管理といいますか、水道についても、今、もう議論は伊勢市内でしておりませんけれども、これが独立採算として企業がやるような話まで出てきておるような時世の中で、やはりどのようにどこでチェックしていくのかということになってくると、何か流量計というのがあるって、各所、当然、そのための投資は要としても流量計を設置してどの辺りが一番漏水量が多いかというようなことを調べていくような話もあるのはあると聞いておるんですけども、その辺りの、当然、費用対効果があるということは私もその辺りのことはよく認識はしておるんですけど、今後、そういった意味でのＩＣであったりそういったことの取組について、やる必要があるのかなと、何か人的なことの調査というのが漏水調査でもやられておりますけれども、その辺りの今後の方向について、少しお示しをいただけないでしょうか。

◎辻孝記会長
上下水道部次長。

●前村上下水道部次長

確かに大きな大都市におきましては流量計による漏水量の管理というのを既に取り組まれているところもございます。

そういう事例を承知しておる上で、管路の台帳のほうもシステムを更新しております、あと流量のデータが取れるようになりますとそういう管理もできます。

やはり90%を超えて一定以上さらに有収率を上げていこうということになりますと、そういった取組も検討しながら、漏水調査区域も絞っていくという、重点的な調査をしていくという取組が必要になってくると認識しておりますので、今後、その辺をさらに調査を進めていきたいと考えております。

◎辻孝記会長

宿委員。

○宿典泰委員

分かりました。いろいろと申し上げましたけれども、何か老朽管の更新だけやれば100%に近づくんやという話では単純にはないと思います。

ただ、水道事業の中でこれぐらい今安定はしておりますから、それを将来にわたって市民の方に負担をしていただかなくていい、今の現状を守れるような状況ということをしちっとやろうとすると、今申し上げたことが全てではありませんけれども、やはり水道として今後の将来に向けての考え方というのを一つきちっと持ちながら、それに向けてということもあらうと思いますので、その点、お伺いをしたいと思います。

◎辻孝記会長

上下水道部長。

●中村上下水道部長

昨年、水道事業ビジョンを策定いたしまして、今年1年目ということで何とか終えようとしております。

委員おっしゃっていただきましたように、来年も幾らか利益を計上する予算を上げることができております。

しかしながら、10年後の姿もお示ししておりますけれども、厳しい状況でございます。まずは、先ほど出ました漏水問題もございますけれども、市民の皆様にとりあえずこれから御負担をお願いしていくんやということも含めまして、まずは私どもの現状の姿というのを来年度は皆様にお示しをさせていただきまして情報を発信しながらいろんな形で将来の姿を検討していきたいなと思っております。そんな形で何とかできるところまで頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

◎辻孝記会長

他に発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記会長

御発言もないようですので、議案第10号の審査を終わります。

次に、433ページをお開きください。

「議案第11号令和2年度伊勢市下水道事業会計予算」を御審査願います。

この議案の審査につきましても、一括で御審査をお願いします。

☆議案第11号令和2年度伊勢市下水道事業会計予算

◎辻孝記会長

御発言はありませんか。

野口委員。

○野口佳子委員

ここの442ページのところで、目14流域下水道建設負担金のところが2億3,900万上がっております。その内容が、ここの説明書のところにも書いていただいているんですけども、もう少し詳しく教えてください。

◎辻孝記会長

上下水道総務課長。

●中山上下水道総務課長

こちらの流域下水道建設負担金につきましては、流域下水道につきましては県のほうで事業を行う部分がございます。大きな幹線とか宮川浄化センターの建設改良費につきましては県のほうで事業を行っておりますが、こちらの市からの負担分ということで、県の事業費から県が補助金をもらう分を引きまして、そこからまだ県が企業債を充てる等を引きました市町で持つ部分がこちらになっております。以上でございます。

◎辻孝記会長

野口委員。

○野口佳子委員

そうしましたら、ここのところを書いていただいている地元負担が2分の1と書いてあるんですけども、これはどうなのでしょう。

◎辻孝記会長

上下水道総務課長。

●中山上下水道総務課長

すみません、説明悪くて申し訳ありません。県の事業費から、県へ国から入ってきます補助金を除いた事業費というのがありまして、その2分の1の地元の市町、伊勢市と玉城と明和町が持つということになっております。

その3市町で持ちます事業費につきましては、各市町の予定の水量で案分しまして、伊勢市としましては80.4722%ということになっております。以上でございます。

◎辻孝記会長

他に御発言はありませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

下水道の事業のことで若干お伺いをしたいと思います。

現在、下水道のほうも第3期から始まって4、5、今、5期がもう始まっておるといような状況でありますけれども、今回、この予算を見せていただいて、主になる工事関係の予算というのも大きな話だとは思いますが、それと債務負担行為なんかも出ておって、今後の将来について下水道全体の会計について、どのような所感を持っておるのか、将来の財政のことで少しお伺いをしたいと思います。

◎辻孝記会長

上下水道総務課長。

●中山上下水道総務課長

下水道の今後の財政状況についてですが、今年度につきましては、4,878万2,000円という純利益を見込んでおりますが、委員御存じのように18億円の一般会計からの繰り入れ、そのうち基準外が1億5,000万円ほどの繰り入れをした上での利益ということになっております。当然、独立採算までまだまだという状況になっております。

それから、昨年度、策定しました第5期計画に基づきます財政収支計画におきましても、計画上、令和8年度まで毎年繰り入れを21億5,000万いただいた上で、令和8年度末に資金ショートしないような計画となっておりますので、今後も厳しい状況が続くということになると認識しております。

◎辻孝記会長

宿委員。

○宿典泰委員

今、御答弁いただいたように、今後の見通しというのは非常に難しい話だと思います。

それで一般会計からの18億円から21億円ぐらいになっていくというようなことも示されたわけありますから、下水道でいう内容としては、工事費もそうありますけれども行財政改革というのはある程度見込んでいけないのかなということも思うんですが、どの辺りをどういう縮減をしていくことによって、その辺り、21億円から入れていくものが軽減するか、21億円入れていくんだけれどもあと数年後には収支が合うような状況になるかというようなことも含めて、どの辺りを見据えておるのか、その辺りもお答えください。

◎辻孝記会長

上下水道総務課長。

●中山上下水道総務課長

今後の経営につきましては、当然、水道と同様、コスト意識を持った経費削減はもちろんなんですけれども、大きなものとしまして2月の産業建設委員協議会のほうで審議いただきました下水道の今後の事業を行っていく全体計画の見直し、こちらにつきましては、現在の認可、令和8年度までの部分には影響してきませんが、その後の事業のほうについて、こういった見直し等を行って経営のほうも効率化を図っていきたいと考えております。以上です。

◎辻孝記会長
宿委員。

○宿典泰委員

今、協議会のほうで見直しの話も出されて、そのことについては私も報告を受けて、非常に前々から人口が減少しておる地域、高齢化も進んでおる地域があって、そこへの下水道の引き込みについてのエリアをもう少し狭めていったらどうやという、それとそれに代わる合併浄化槽であったりというようなことの取組も一つの手法であるなというようなことも議論はさせてもらってきてありましたけれども、宮川の流域として一括、国のほうでお認めいただいたやつを変更するのはなかなか大変だということの中で、今、見直し論が出てきたんだと思うんです。

つけ加えていうならば、第5期のエリアも進んではおりますけれども、しかしながら1年でぐっと進むわけではない、なかなか第5期も数年かかってしまう中で、そこにもまた人口減少である高齢化という問題も抱えながらしておるので、この見直しの中の評価表も私いただいて見せていただくと、経済比較というのが1という数値があって、これは計算方法がありますけれども、例えば0.8ならこれは合併浄化槽に持っていこうなというエリアがある、1以上なら下水道のまま計画どおりにいきましょうということで令和8年までいくわけでありましてけれども、この表の中の残念なことに1.01であったりとか1.02という極めて判断するのに難しいかなと。1を超えたので下水道の推進はしていきますよということでありましてけれども、年数のかかりようによっては1を割る可能性もあると。

それは何かというと、将来の土地利用であったり将来人口というのが計算値の中にありますから、そうすると相当その辺りが変更ということまでは難しいにしても、財政的な全体の中でその辺りを少し極めて見ていく必要もあるのかなと、こんなことを思うわけであります。

工事をしておってもなかなかつないでいただける下水が市民の方が見えないということになると、それは水洗化率も上がらない話ですから、その辺りのことについてどのようにお考えなのか、お聞かせをください。

◎辻孝記会長
下水道建設課長。

●松田下水道建設課長

ただいまの御意見をいただきまして、先日の産業建設委員協議会で見直しの方向性を示させてもいただきました。

その中で、後日お渡しさせていただきました判定表の細かい数字があります。その中で、1.0幾つとかそういった数字もございました。

ただ、それは、実は令和8年度以降に進めようとする場所の数値でございまして、現在、進めようとしています昨年策定しました第5期の事業計画につきましても、同じように費用比較、あと都市計画上の位置づけの動向というのを判定させていただいた中で、現在、5期で進めようとしている部分につきましては、1.2以上、今年見直した中でも上位に位置するようなところを昨年選定させていただきまして事業を進めるということで、今、5期を進めようとしております。

ですので、現状で基礎データに大きな変化がない限りは、5年間は今のような数字で推移するのではないかとということで判断しておりまして、5期の整備区域を進めようとしていくところでございます。

◎辻孝記会長
宿委員。

○宿典泰委員

ちょっと私の質問が御理解いただけなかったと思うのは、この見直し論が令和8年以降やということは先ほど説明があったので、私もそれは理解しています。

見直しのことについても、それに使われるということだけれども、例えば5期の分について、確定した数値の中で今現在の数値を当てはめるとそれは1.2になるかわからん、ただ、そこが3年後ということになったときに、極端なことをいって1を割るような状況も見えてくるんじゃないかなと。工事をしながら。だから、そういうことも細かく分析をしながらいく必要も今後は出てくるんじゃないかなというようなこと。

5期まで決まったから、もう何が何でもやらないかんというようなことで財政が持つのかなということ。逆に言うと。持つということであれば、そのように言っていたらいいと思うんですけども、操出金も18億円から21億5,000万円まで上がるわけでしょう。それを何とか収めたい、また、エリアもそんなに持たなくても今後の維持修繕費なんてすごいかかるわけですね。一遍持ってしまうと。そういった総合的なリスクというのを抱えながらやるわけですから、その辺りはちょっと今の答弁だと僕は食い違うん違うかなと。

それであっても、5期計画を見直すまではできるかできやんかという手法は知りません。知りませんけれども、効果がないところへ、計画があるから延ばさないかんというような状況ではないかもしれんというように話を申し上げたんですけども、もう一度御答弁いただけますか。

◎辻孝記会長

下水道建設課長。

●松田下水道建設課長

今、委員言われたとおりの部分は多数あると思います。現状で判断しておりますのは、数値がいいというようなところで進めようとしているところではございます。

ただ、委員言われるように、将来的にそれがずっと続くのかというところがやはりその時々でチェックも必要かとも思っております。以上でございます。

◎辻孝記会長

上下水道部長。

●中村上下水道部長

委員御指摘ございましたように、私ども下水道事業を進めるに当たりましては、人口ビジョンであるとか、それから都市計画上の位置づけ、将来の都市構造を考えながら進めてきておるところでございます。

その点については、しっかりと意識をして進めておりますが、下水道事業を進めるに当たりまして、既に供用しておりますところとの一体性であるとか様々な地域の状況もございますので、委員の御指摘もしっかりと受けとめましてこれから進めてまいりたいと思っております。

◎辻孝記会長

他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記会長

御発言もないようでありますので、議案第11号の審査を終わります。

次に、企業会計中、当分科会関係分の自由討議を行いたいと思いますが、御発言はありませんか。

【企業会計の自由討議】 発言なし

◎辻孝記会長

御発言もないようでありますので、自由討議を終わります。

次に、令和2年度予算全体中、当分科会関係分の自由討議を行いたいと思いますが、御発言はありませんか。

【令和2年度予算全体の自由討議】 発言なし

◎辻孝記会長

御発言もないようでありますので、自由討議を終わります。

暫時休憩します。

休憩 午前10時55分

再開 午前10時56分

◎辻孝記会長

休憩を解き、会議を再開いたします。

以上で、本分科会に振り分けされた案件の審査は終わりました。

委員の皆様におかれましては、円滑な審査に御協力いただきありがとうございました。

お諮りいたします。

会長報告文の作成につきましては、正副会長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎辻孝記会長

御異議なしと認めます。そのように決定しました。

それでは、これをもって予算特別委員会産業建設分科会を閉会いたします。

御苦労さまでした。ありがとうございました。

閉会 午前10時56分

上記署名する。

令和 2 年 3 月 6 日

会 長

委 員

委 員